

短歌の基本を知ろう

図解 | 短歌の基本と読み取り方



五つのまとまり＝五句 / 合計三十一音が基本

情景

見えるもの・聞こえるもの
起きていること

心情

話者が感じていること
うれしい・さびしいなど

表現

たとえ・擬人法・反復など
言い方の工夫

短歌の形

問1 正しいものを一つ選び、記号を○で囲みなさい。

短歌の基本の形を確認しましょう。〔五音〕→〔七音〕→〔五音〕→〔七音〕→〔七音〕の五つのまとまりを「句」といい、合わせて三十一音になるのが基本です。短歌の基本の形として正しいものはどれですか。

- ア 五・七・五・七・七
- イ 五・五・七・七
- ウ 七・五・七・五・七

問2 ことばで答えなさい。

短歌をつくる五つのまとまりを何といいますか。

音数の数え方

問3 音数を数字で答えなさい。

音数の数え方を確認しましょう。小さい「ゃ・ゅ・ょ」は前の文字と合わせて1音、「っ」「ん」「ー」はそれぞれ1音と数えます。「きょう」は何音ですか。

答え 音

情景と心情

問4 情景を表しているものを一つ選び、記号を○で囲みなさい。

短歌を読むときは、〔見えるもの・起きていること〕→情景、〔感じていること〕→心情、〔言い方の工夫〕→表現と整理すると読み取りやすくなります。次のうち、目に見える様子や場面である「情景」を表しているものはどれですか。

- ア 夕焼けの道を一人で歩く
- イ 少しさびしい気持ちになる
- ウ 明日が楽しみだと思ふ